

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕事の内容	東大和市まちフォトコンテスト事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進		総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 7 商工費	項 1 商工費	目 3 観光費	事業 1 観光推進事業
-----	---------	---------	---------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市内外の人 → 市民+α	
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	市内の観光資源の創造・発掘するとともに、市内外の人へ東大和市の魅力を周知する。 → 応募作品数	
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	インターネットを活用したフォトコンテストを実施し、応募作品を公開することで写真を媒体に市の魅力を発信した。実施については、市民で構成される実行委員会と市の共催とし、多様な視点から応募作品を募集できるように努めた。入賞・入選作品は現像し、市内6か所で展示会を実施することで、市のPRを行った。また、応募された作品は、市の刊行物(市報)や外部団体(カレンダー・ポストカード等)によって活用された。 → ①ウェブでの公開期間 ②展示会会場数	

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	市民+α	市民+α	市民+α	
	成果指標	②の数値	作品	666	493	424	
	目 標	②の目標値	作品	600	667	494	
		目標値設定の考え方	前回を超える応募作品数を目指す				
	活動指標	③の数値	①月 ②か所	① 8 ② 7	① 8 ② 7	①7.5 ②6	

3 経費	事業費(実績)		円	450,000	450,000	450,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	450,000	450,000	450,000	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	4,133,500	4,126,500	4,122,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	4,583,500	4,576,500	4,572,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	平成24年4月に組織改正が行われ、産業振興課商工係に観光事業を取り扱う部署が設置されたことに伴い、市内にある観光資源を整理するとともに、埋もれている観光資源の発掘や、新しい観光資源の開発を行うことが明確に示される形となった。また、ソーシャルメディアなど、個人がインターネットを使用し情報発信を気軽に行うことが一般的になったことがインターネットを活用したフォトコンテストを実施する背景となる。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	当初は作品審査にのみ市民が関わっていた事業であったが、2回目以降は実施主体が実行委員会組織になり市民協働が進んだ。実行委員の他に市内の団体及び企業の協力を得ている。

仕 事 の 内 容	東大和市まちフォトコンテスト事業			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	応募者に対して実施したコンテストに係るアンケートについて、継続して開催してほしいといった回答が多数あったことや、市内外よりコンテストの成果物の配布要望があることから、好評であったと評価できる。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	① ② 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 新たな市内協力団体・企業を募り、地域に密着した事業とすることで市民協働を推進することができる。			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 ・事業の認知度の向上。 ・市内協力団体、企業の増加。 ・コンテスト後における応募作品の活用方法。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ・市内外の企業へ協賛を依頼した結果、新たな協賛先を1社募ることができた。 ・コンテスト作品の活用及び事業の認知度の向上のため、成果物（フォトブック）を継続して作成した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ・更なる認知度向上の必要がある。			
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 【実行委員会】 ・応募を促す対象者を明確にし、対象者に合致したPR方法を模索する。 ・地元団体、企業独自のネットワークや知識を、企画やPR活動に取入れる。 ・応募作品を活用した成果品を作成し、多数の人目に触れる機会を増やす。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 【実行委員会】 ・場所、年齢に合わせて広報物を数種類作成し、対象者に参加を促す。 ・地域の広報誌や、協力企業のホームページ／SNSなどでコンテスト情報の発信に協力してもらう。 【市】 ・市独自の広報力（市報／ホームページ等）を活用し成果品のPRを行うことで、市の魅力を発信する。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。